

IV 事業概要
1 学芸事業
【1 展示関係】

(3) 特別展

①特別展概要

1名称「地球と地震 48のひみつ」

2趣旨

主な対象を小学校中学年（および保護者）に設定し，地球の構造，地震発生のしくみを説明する。また，緊急地震速報の原理や防災への取り組みについて紹介する。関連する最新研究としてJAMSTECの研究成果を紹介する。展示は大判パネルや映像による解説，および体験装置として地震体験装置を設置する。

3開催期間

令和元年7月20日(土)～令和元年8月25日(日)【開館：33日間】

休館日：7月22日(月)，29日(月)，8月5日(月)，19日(月)

4開催場所

仙台市科学館 2階特別展示室，3階エントランスホール

5主催・共催・後援等

- ・主催：仙台市教育委員会（主管：仙台市科学館）
- ・協力：JAMSTEC，東北大学国際災害研究所，水道局，交通局，ガス局，仙台市消防局，仙台建設業協会，仙台管区气象台，日本気象協会，仙台市防災安全協会
- ・後援：宮城県教育委員会，河北新報社，朝日新聞仙台支局，毎日新聞仙台支局，読売新聞社東北総局，産経新聞社東北総局，日本経済新聞社仙台支局，NHK仙台放送局，TBC東北放送，仙台放送，ミヤギテレビ，KHB東日本放送，CAT-V，J:COM仙台キャベツ，株式会社エフエム仙台，仙台シティエフエム

6入館料

- ・個人入館料：一般900円，高校生600円，小学生・中学生300円
※特別展の入館料を納入したものは，常設展は無料とする。
- ・団体入館料：10名以上の利用者は一律100円引きとする。

7特別展入館者数

28,454人（うち，未就学児3,072人）

8 展示内容

A ゾーン (3F エントランスホール)

自衛隊、仙台建設業協会、消防局、水道局、ガス局、交通局における東北地方太平洋沖地震発生後の復旧活動のようすをパネルで展示した。また、常時備えておくべきことをそれぞれの団体から紹介している。



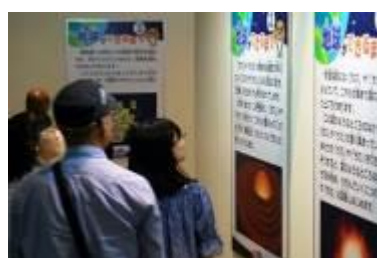
B ゾーン (2F 受付前ホール)

無料エリア休憩コーナーで気象庁制作の災害防災啓発ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう!」、「長周期地震動ことはじめ」を上映した。また、年少者がぬり絵をできるようにした。



C ゾーン「地球ができるまで」

特別展示室までのスロープ壁面をつかって、地球ができる過程を解説パネルで紹介した。



D ゾーン「地球のつくり」

地球の構造を解説パネルで紹介した。また、球形スクリーンに地球表面映像を投影した。



Eゾーン「地震の発生」

解説パネル，動画による地震発生のしくみを紹介した。地震波説明器により，P波 S波を体験的に説明した。



Fゾーン「地震の伝わり方」

解説パネル，動画により初期微動，主要動を紹介した。また，地震波の到達速度の差から緊急地震速報が発報できるしくみを説明した。



Gゾーン「地震がおきたら」

地震発生後にとるべき行動を紹介した。仙台市内各地域のハザードマップを投影できる装置を設置した。また，計測震度計を設置し，ゆれと震度について説明した。



Hゾーン「いろいろな自然災害」

地震以外の自然災害について紹介した。豪雨暴風疑似体験装置を設置した。



Iゾーン「迷路に挑戦」

建物からの避難をイメージした段ボール迷路を設置した。



Jゾーン「災害を体験」

可搬式地震体験装置を2基設置した。地震体験装置と同じ機構を使用した高層建築物のゆれを再現するモデルを展示した。



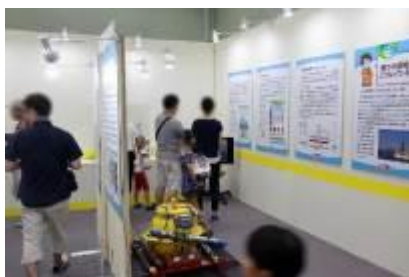
Kゾーン「防災ワークショップ」

防災に関する簡単な実験・工作ができるワークショップスペースを設置した。



Lゾーン「海から調べる」

JAMSTECの研究を解説パネル、映像で紹介した。海底地震計、ちきゅう号の模型、ドリルビット、コアサンプル（レプリカ）の展示を行った。



Mゾーン「自然災害に備えよう」

家庭でできる防災および防災グッズを紹介した。



Nゾーン「写真撮影コーナー」

来館記念の写真が撮影できるコーナーを設置した。

